

■堀井新治郎(初代・元紀) 簡便な印刷をめざして、義理の子仁紀とともに、謄写版を発明、ガリ版文化を開いた。

ほりいしんじろう

松下村塾・・・1856＝ 滋賀県蒲生郡苗村大字駕与丁(竜王町)で、菱田弥左衛門の次男に生まれる。

桜田門外変・1860＝ 4歳：

薩摩藩士密航1865＝ 9歳：

明治維新・・・1868＝12歳：

明治6年政変 1873＝17歳：

佐賀の乱・・・1874＝18歳：この年、旧家で代官もつとめ醸造業も営む堀井家に耕造(仁紀)が誕生。

内務勸農局出張紅茶伝習所に入り、滋賀県緑茶再製法伝習所を経て、

沖縄県編入・1879＝23歳：岐阜県御用係となる。

明治14年政変1881＝25歳：

次いで、農商務省製茶巡回教師となり、滋賀県勸業委員として蚕糸業の発展に尽力、

岩倉具視没・1883＝27歳：堀井家に仁紀の養父として迎えられ、堀井家38代目を相続する。

さらに、米質改良員になると模範農場を起こすなどの功績をあげるが、

多年官職にあって、膨大かつ煩雑な文書業務に苦勞、簡便な処理方法によらなければ、本来目的とする業務ができなくなると、国家の将来を憂えて、印刷機の発明を志すようになって、労力を傾注するうち、

帝国憲法発布1889＝33歳：

この遠大な企図と日常の業務を両立させることが不可能と悟って、

大本教・・・1892＝36歳：

郡司千島探検1893＝37歳：

*官を辞し、三井物産を退社した子の仁紀とともに、簡便な印刷機の開発に組み始め、自分は印刷機開発勉強のため米国シカゴ万博に出発、苦勞の末、ほぼ成案を得るに至って、帰国。その間、研究費がかさみ窮乏状態になった仁紀が、より研究しやすい環境を求めて上京し、神田鍛冶町に居を定めており、*ついに、謄写版(鉄筆製版)を発明し、神田鍛冶町で{謄写堂}創業。日本人一般には反響がなかったが、横浜の{ジャパンメール}に謄写版の広告を出しと、早速外評価を得て商談が飛び込むも、事業を外国人に手渡すことはできないと耐え、なお生活に苦しんでいたところ、

日清戦争終・1895＝39歳：

*謄写版原紙の特許をとるとともに、日清戦争中の大本営・陸海軍が軍事通信に謄写版を採用し、大量の注文を受けたことから、道が開け、販路拡張のため父子で全国行脚、月賦販売方式も採用し嚆矢となる。

松隈内閣・・・1896＝40歳：

*官庁・大学・商社・新聞・通信社で使われるようになり、事業拡大と合わせて改良・工夫を進める。

八幡製鉄始・1897＝41歳：

仁紀が結婚。記念博覧会(京都)で賞杯を受ける。

Bushidou・・・1899＝43歳：

原紙に高知産の雁皮紙を使用、海外への市場を拡大する。

田中正造直訴1901＝45歳：

日露戦争始・1904＝48歳：

*病のため鎌倉に隠居し、仁紀が業務全般を継承する。

日露戦争終・1905＝49歳：

韓国併合・・・1910＝54歳：

仁紀が堀井輪転謄写機(第1単胴式)を完成、特許を受ける。

大逆事件判決1911＝55歳：

仁紀が謄写堂上海支店を開設(以後、京城・天津・漢口・南京と出張所を開設する)。

明治天皇没・1912＝56歳：

第一次大戦始1914＝58歳：

仁紀が、タイプライター用原紙として、ミリアタイプ印版紙を開発。

21ヶ条要求・1915＝59歳：

謄写堂を「堀井謄写堂本店」と改称。

民本主義・・・1916＝60歳：

多年に渡る功績に対し緑綬褒章を授与され、

ロシア革命・1917＝61歳：

元紀と改名、耕造が新治郎を襲名。彦根大本営において天皇に謁見する榮譽、

ベルサイユ条約・1919＝63歳：

原敬首相暗殺1921＝65歳：

水平社結成・1922＝66歳：

帝国発明協会から謄写版とミリアタイプ印版紙それぞれに有効賞牌。

共産党事件・1928＝72歳：

世界恐慌・・・1929＝73歳：

帝国発明協会から謄写版とミリアタイプ印版紙それぞれに特等賞牌。日本産業協会総裁伏見宮より、産業貿易功労者の表彰を受け、

満州事変・・・1931＝75歳：

五一五事件・1932＝76歳：

全国各地に工場を有し、海外の販売先が支那・ロシア・フランス・インド・イギリスなどに及ぶ日本を代表する企業になるなか、没した。

インターネット「堀井新治郎苦闘伝」、